

# ゆざまち

## 協力隊

2021  
7 July  
No.3

遊佐町地域おこし協力隊通信



新たに新隊員が1名着任しました！自己紹介&活動内容を紹介します。協力隊のフレッシュさが増しますね。各隊員の近況等もご覧ください。

豆情報

遊佐町では、退任した地域おこし協力隊のうち、7人が定住しているんですよ。

### 遊佐高校学生生活支援業務担当（県外学生の生活支援・遊佐高校支援の会に関する業務） 令和3年5月～活動開始

はじめまして！  
宜しくお願いします



伊藤 聖実 Ito Satomi  
東京都出身

吹浦漁港にて  
海と夕陽が好きで撮りました



はじめまして、こんにちは！



5月20日から新しく遊佐町の地域おこし協力隊員になりました、伊藤聖実です。ぜひ気軽に”さとみん”と呼んでください！大学時代は山形市内で過ごしていましたが、庄内弁はまだまだ初心者なのでお手柔らかにお願いします！

生徒と一緒に生活をしながら学べる生活相談員の仕事に魅力を感じ、遊佐町に来ました！現在は、県外から遊佐高校に来ている女子生徒の担当をされており、留学生3人の生活を日々サポートしています。また、遊佐高校をさらに魅力的な学校にするための活動を行っています。

留学生達に旬のごはんを提供できるようになりたいので、料理が好きな方から遊佐産の食材を使ったレシピをぜひ教わりたいです！また、いろんなことに興味があるので、様々な遊佐情報を教えていただければ嬉しいです。遊佐での生活を留学生と一緒に挑戦しながら楽しんでいきたいと思ひます。

これからよろしくお願いします！

興味があること 演劇／映画／薬膳料理／DIY（棚を作りたい！）／  
パルクール／海が綺麗に見えるスポット／釣り／古着／キャンプ／登山

### 心のふるさと

最近考えていること

皆さんにとって”ふるさと”とは何ですか？生まれ育った町ですか？おじいちゃんが住んでいる町ですか？きっと答えはなくて、世代によって異なると思います。僕にとってふるさは”帰ることができる町”です。ふと思ひ返すと人生の中でたくさんの挑戦と失敗があったなと思ひます（今もですが）。たくさんの失敗の経験の中で、僕が何かに向かっていけるのは「それでも大丈夫。帰ることができる場所があるから」という”心のふるさと”の存在です。今の若者はVUCAという変化の激しい現代社会とコロナ禍など、たくさんの不安とともに生きています。ふるさとが存在するかしないかで人生の豊かさは変わってくると思ひます。仲間と笑いあったり、泣いたり悩みを共有したり、いろんな学びがありながら日々を過ごしています。人生の主人公は自分。どんな選択をとってもいい。選択のときに悩んだり、その先で立ち止まりなくなったりするときもあるかもしれない。その時、心のふるさとがその一歩を軽くすると思ひます。僕はそんなふるさとを高校生とともに作ってきたいです。



鈴木 晴也



合同学校説明会でもたくさんの”ふるさと”に気付きました



中島 悠

## 遊佐町産孟宗筍メンマの試作始めました



今年度の加工品を考えている中で、協力隊OBの和島さんが活動ときに町内の放置竹林を整備し、その際に出た孟宗筍でメンマ作りをしていたと聞きました。その話に興味を持ち、メンマのことを調べていくうちに国産メンマの製造が



遊佐町内の竹林

少ないことを知り、遊佐町産孟宗筍のメンマを開発したら地域おこしにつながるかと強く思い試作をすることにしました。

5月は孟宗筍メンマを試作するために町内の竹林に通い、そこで初めて竹の伐採と野焼き、筍の収穫体験をしました。野焼きは想像以上に熱く、収穫は筍の根っこが頑丈でかなりしんどかったです。



竹の伐採と野焼き

収穫した筍は共同加工場（遊佐町地域活性化拠点施設）に運んで皮を剥き、茹でて塩蔵し、それを1ヶ月間寝かせて7月中旬にメンマとして完成予定です！次の協力隊通信で完成報告したいと思います！



繁田 久美子

晴れた日は外で活動している事が多くなりました。田んぼの真ん中でカメラを持っている人がいたらきっと私です...怪しい人ではありません!!役場のストック写真を全て差し替えるぞ!というくらいの意気込みで行動しています。他の活動の写真是Instagramかフェイスブックをご覧ください！

<https://www.instagram.com/shigeta.kumiko>



左記QRコードか、上記URLから繁田のInstagramへアクセスできます。こちらに協力隊の活動で撮影した写真を日々アップしていますので、ぜひご覧ください！



半澤 香織

## 遊佐町移住者交流会 「遊佐で遊ぶ会」 「ハツ面川&遊佐地区ウォーキング」に参加して



5月30日(日)に「鳥海ウォーキングクラブ」とのコラボ企画として開催され、ハツ面川沿いと遊佐地区の神社などを巡り歴史や文化を学ぶ、約7kmを歩くコースに移住者の私も参加しました。

ハツ面川の歴史や整備・保全事業、貴重な生態系を教えて頂き、イバラトミヨ、ホトケドジョウ、カワニナを観察し、皆さんと興味津々聞き入りました。町の中に絶滅危惧種がいる清流が流れていることに驚いています。各地区の神社を中心とした歴史の話も教えて頂き、大切にされている地区ごとに特色がある文化や灯籠流しの行事など、私が住んでいた千葉の住宅街にはなく大変奥深いものを感じます。



ホトケドジョウ



イバラトミヨ



八面川にて

移住者交流会(年6回ほど開催)では、自然や食など町のことを知ることができ、また、遊佐弁や雪かきなどの実際の暮らしに必要な情報を共有し、移住者が安心して住むことができる取り組みが行われています。こういった他市町村で行われていないことや、町に関するあらゆる情報を収集して(日々勉強中です)移住者目線で気付いた良さを、町の魅力として今後も発信していきます。

